

1. 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム グリーンヒルズ東山	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	---------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点		取組み度	評価		
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.6	/5	    	ふつつ 		
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.3	/5	    	ふつつ 		
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.9	/5	    	ふつつ 		
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	3.0	/5	    	ふつつ 		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点		3.6	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし	Q-1	2	2.1 2.1.2 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 外構面積緑化率43%、郷土種の植栽導入、中庭等中間領域形成、緑被率確保	Q-3	1		⑤ 生物環境の保全と創出
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) 特になし	LR-1	1		⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器の採用 ⑫「木材・プラスチック再生複合材」のデッキ使用 ⑫躯体と仕上げ容易に分別できる ⑫ハロン消火剤使用しない ⑫断熱材の発泡剤ODP=0 ⑫冷媒は代替フロンを採用を明記	LR-2	1	1.1 1.2 1.2.1 1.2.2	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑬気象データにより風環境把握、建物の見付面積比率46%、後退距離比率57% 緑被率・保水性浸透性舗装比率29%	LR-3	1		⑭ 地球温暖化への配慮
		2	2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点		3.3	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑭地域係数Z=1.2、用途係数I=1.25	Q-2	2	2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点		3.9	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲共用部3.9m、居室3.6-3.9m	Q-2	1	1.1 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱ ⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑散策路あり、中庭等中間領域の形成、視線を遮らない植栽	Q-3	3	3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点		3.0	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構尾面積緑化率43%、適切な緑地づくり、郷土種の植栽導入、緑地の管理実施 ⑥景観条例適合、緑地による景観形成 ⑥風の通り道確保、緑被率確保、塵埃排熱考慮	Q-3	1		⑤ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮気象データにより風環境把握、建物の見付面積比率46%、後退距離比率57% 緑被率・保水性浸透性舗装比率29%	LR-3	2	2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善